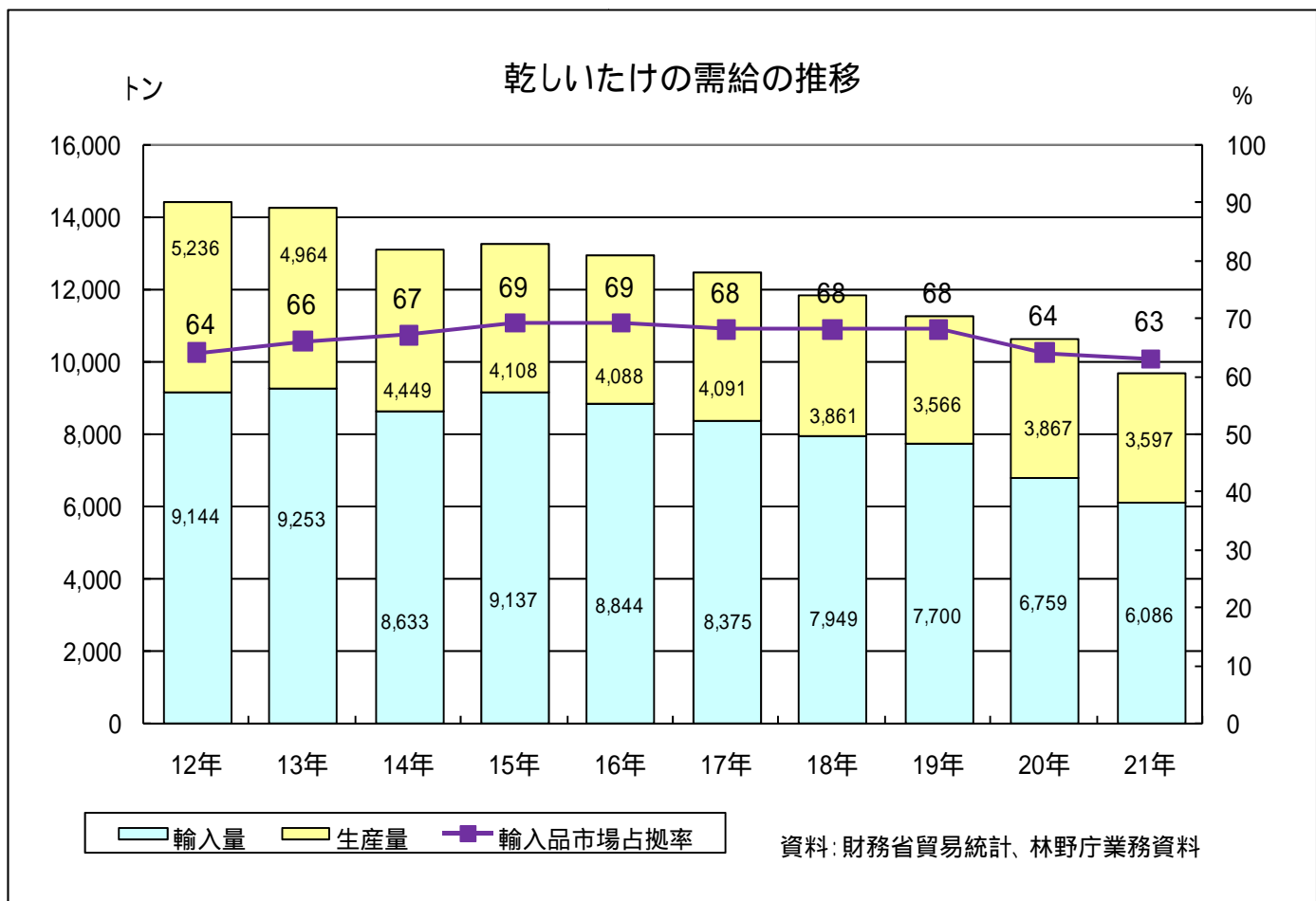
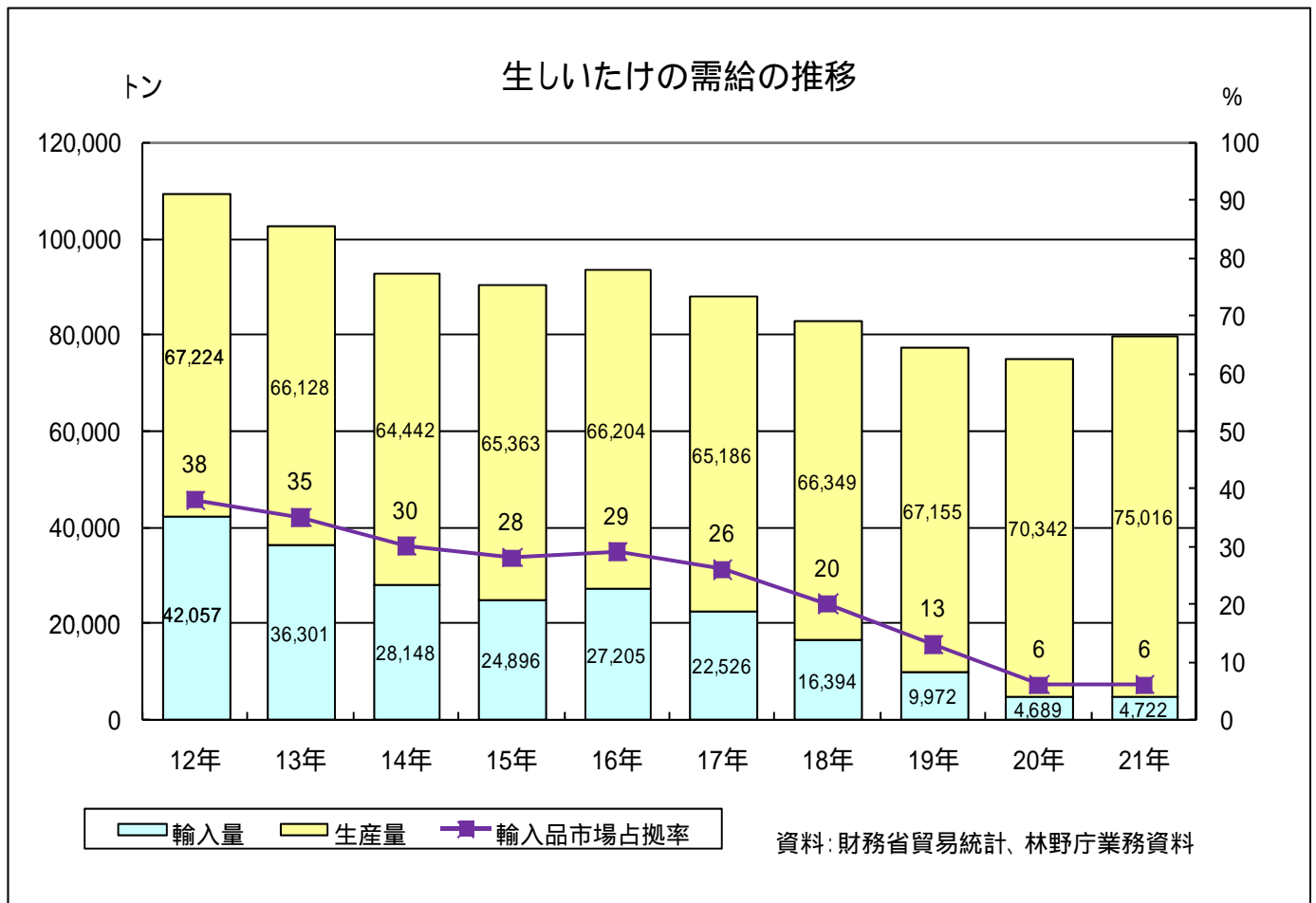
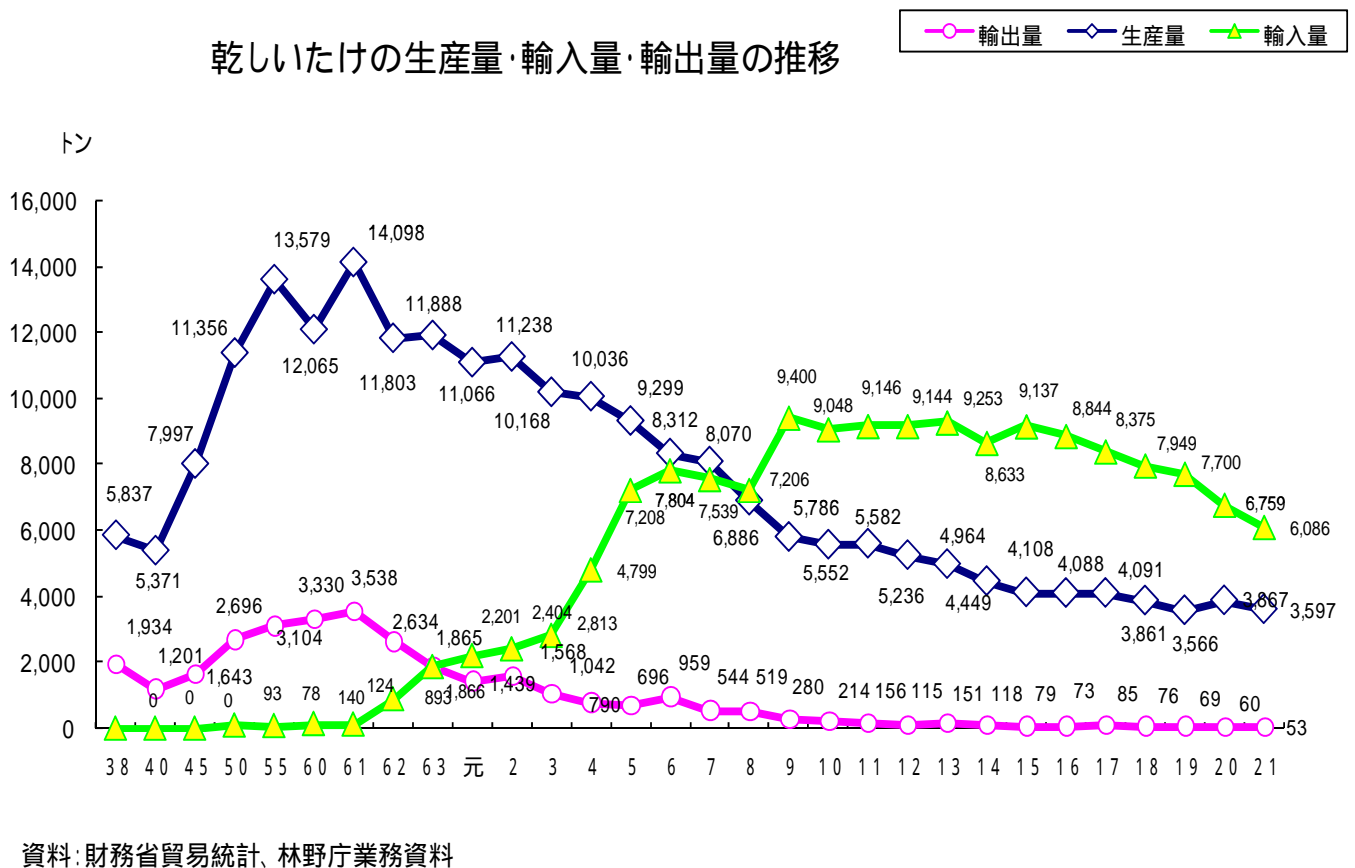
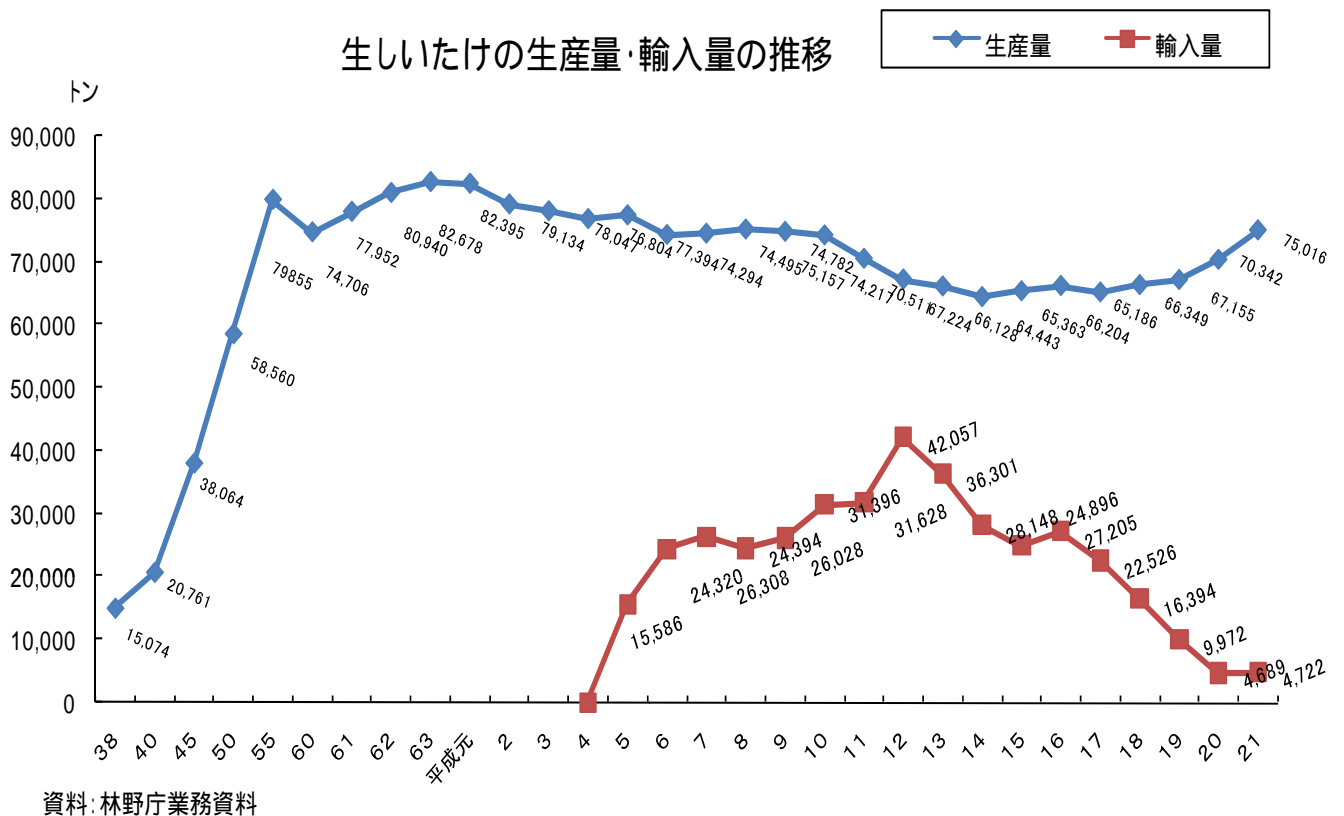


## 6 しいたけの需給動向



# しいたけの生産量・輸出量・輸入量の推移



## 7 原木しいたけ生産の振興

原木によるしいたけ栽培は、生産者が高齢化する中で、生産からの離脱や労働強度の軽い菌床栽培への移行等に伴い、生産量、生産者が減少。山村の活性化を図るためにも原木しいたけ生産を維持、発展させることが必要。

### 原木によるしいたけ栽培の推進

### 原木しいたけ再生プラン (平成17～19年度)

原木しいたけ生産の振興のために、国、都道府県、業界等が一体となって、それぞれの役割を果たす取組を進めるための方針  
(きのこ生産全体にも寄与)

#### 取組内容

#### 生産量の増大のための取組

- ・全国の経営優良事例調査、優れた技術や経営手法の追求
- ・原木入手を容易にするため、原木情報の共有や関係者が連携する仕組みの構築 等

#### 輸出の復活

- ・農林水産省の輸出促進対策である常設店舗活用型輸出対策事業(海外のデパート等)を活用し、乾しいたけの海外での需要を開拓 等

#### 担い手育成のための取組

- ・都道府県等での研修実施・きのこの専門機関による研修活動 等

#### 消費の拡大

- ・原木しいたけの特徴をPR・業界による自主的な原産地表示(シール)の改善
- ・業務用乾しいたけ実態把握を通じた流通の適正化推進 等

### 現在の取組 (平成20年度～)

「特用林産の今後の振興方向について」(平成20年1月策定)に基づき、機械化等による生産コストの低減、原木の安定供給体制の整備、消費者に対するわかりやすい情報提供等を推進